

平成28事業年度

決算報告書

自 平成28年4月 1日

至 平成29年3月31日

公立大学法人 九州歯科大学

平成28年度 決算報告書

1 収支計画

(単位:百万円)

区分	予算額(a)	決算額(b)	差額 (b)-(a)	備考
費用の部	3,385	3,337	▲ 48	
経常費用	3,385	3,335	▲ 49	
業務費	3,067	3,025	▲ 41	
教育研究経費	388	367	▲ 20	(注1)
診療経費	641	651	10	
受託研究費等	17	5	▲ 12	(注2)
人件費	2,019	2,000	▲ 19	(注3)
一般管理費	314	307	▲ 6	
(減価償却費 再掲)	(149)	(139)	(▲ 10)	
財務費用	2	2	▲ 0	
雑損	—	0	0	
臨時損失	—	1	1	
収益の部	3,395	3,372	▲ 22	
経常収益	3,395	3,371	▲ 23	
運営費交付金収益	1,551	1,582	30	(注4)
授業料収益	403	391	▲ 11	
入学金収益	61	65	3	
検定料収益	10	10	0	
附属病院収益	1,078	1,072	▲ 6	
受託研究等収益	10	6	▲ 4	
補助金等収益	125	86	▲ 39	(注5)
寄附金収益	12	23	11	
資産見返運営費交付金等戻入	11	8	▲ 3	
資産見返補助金等戻入	51	51	0	
資産見返寄附金戻入	9	10	0	
資産見返物品受贈額戻入	12	12	0	
財務収益	0	0	▲ 0	
雑益	56	51	▲ 4	
臨時利益	—	1	1	
当期純利益	9	35	25	
当期総利益	9	35	25	

(注記) 記載金額は百万円単位とし、表示単位未満については切り捨て表示しています。

○予算額と決算額の主な差異について

- (注1) 教育研究経費については、主として学長重点枠の費用発生額が14百万円減少したことにより、予算金額に比して20百万円減少しました。
- (注2) 受託研究費等については、主として予算では奨学寄附金7百万円を受託研究費等として計上していたが、決算では教育研究経費に計上していること、及び受託研究等収入が6百万円減少したことに伴い受託研究費等が同額執行されなかったことにより、予算金額に比して12百万円減少しました。
- (注3) 人件費については、主として教員人件費が15百万円減少したことにより、予算金額に比して19百万円減少しました。
- (注4) 運営費交付金収益については、主として平成26年度退職手当一時金の執行残10百万円を収益化したこと、及び運営費交付金の交付決定額の変更に伴い収入が20百万円増加したことにより、予算金額に比して30百万円増加しました。
- (注5) 補助金等収益については、主として厚生労働省補助金が9百万円増加したものの、臨床研修費補助金が25百万円、大学間連携事業補助金が16百万円減少したことにより、予算金額に比して39百万円減少しました。

平成28年度 決算報告書

2 資金計画

(単位:百万円)

区分	予算額(a)	決算額(b)	差額 (b)-(a)	備考
資金支出	3,295	3,236	▲ 59	
業務活動による支出	3,233	3,168	▲ 65	(注1)
投資活動による支出	7	26	19	(注2)
財務活動による支出	54	41	▲ 13	
資金収入	3,313	3,285	▲ 28	
業務活動による収入	3,313	3,285	▲ 28	
運営費交付金収入	1,555	1,575	20	(注3)
授業料収入	403	391	▲ 11	
入学金収入	61	65	3	
検定料収入	10	10	0	
附属病院収入	1,078	1,071	▲ 7	(注4)
受託研究等収入	10	4	▲ 6	
補助金等収入	125	91	▲ 33	(注5)
寄附金収入	12	22	10	
その他の収入	56	52	▲ 3	
投資活動による収入	0	0	▲ 0	
財務活動による収入	—	—	—	

(注記) 記載金額は百万円単位とし、表示単位未満については切り捨て表示しています。

○予算額と決算額の主な差異について

- (注1) 業務活動による支出については、主として人件費が19百万円、教育経費が31百万円、研究経費が27百万円減少したことにより、予算金額に比して65百万円減少しました。
- (注3) 運営費交付金収入については、運営費交付金の交付決定額の変更に伴い、予算金額に比して20百万円増加しました。
- (注5) 補助金等収入については、主として厚生労働省補助金が9百万円増加したものの、臨床研修費補助金が25百万円、大学間連携事業補助金が16百万円減少したことにより、予算金額に比して33百万円減少しました。

○キャッシュ・フロー計算書の額と決算額の主な差異について

- (注1) 業務活動による支出の決算額は、キャッシュ・フロー計算書の額3,232百万円に、当期末未払金243百万円を加算し、前期末未払金307百万円を減算して算出しています。
- (注2) 投資活動による支出の決算額は、キャッシュ・フロー計算書の額22百万円に、当期末未払金5百万円を加算し、前期末未払金1百万円を減算して算出しています。
- (注4) 附属病院収入の決算額は、キャッシュ・フロー計算書の額1,070百万円に、当期末未収入金139百万円を加算し、前期末未収入金138百万円を減算して算出しています。